

# KISSEI

証券コード：4547

## 決算補足資料

2021年3月期 第2四半期

2020年11月5日

 **キッセイ薬品工業株式会社**

# 目次

【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】	.....	P 1
I. 連結損益計算書の推移	.....	P 2
II. 連結貸借対照表の推移	.....	P 4
III. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移	.....	P 6
IV. 配当の推移	.....	P 7
V. 主な医薬品の売上推移	.....	P 8
VI. 新薬開発状況（自社）	.....	P 9
VII. 新薬開発状況（導出）	.....	P 9

本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による 2020 年 11 月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

## 【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】

### ・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、28,394百万円（前年同期比6.9%増）となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により限られた医薬情報活動となりましたが、過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、腎性貧血治療薬「ダルベポエチン アルファBS注JCR」、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」及び「ピートル顆粒分包」などの売上が増加いたしましたことに加え、本年4月に販売移管が行われました男性における夜間多尿による夜間頻尿治療薬「ミニリンメルトOD錠25µg/50µg」、夜尿症・中枢性尿崩症治療薬「ミニリンメルトOD錠60µg/120µg/240µg」及び「デスマプレシン製剤」、糖尿病治療薬「マリゼブ錠」の寄与などにより、増収となりました。

情報サービス事業の売上高は2,396百万円（前年同期比25.7%減）、建設請負事業の売上高は1,179百万円（前年同期比39.0%増）、物品販売事業の売上高は314百万円（前年同期比65.7%減）となりました。

### ・利益の状況

利益面では、増収に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、医薬情報活動の自粛などに伴う営業活動経費の未費消、海外提携先への契約料支払いタイミングの繰延べなどにより、販売費及び一般管理費が減少いたしました一方、売上原価率の上昇がありましたことなどから、営業利益及び経常利益は減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益の計上などにより増益となりました。

### ・研究開発の状況

研究開発の状況につきましては、丸石製薬株式会社と共同開発を行っております透析患者におけるそう痒症治療薬MR13A9（開発番号、一般名：ジフェリケファリン）につきまして、国内第Ⅲ相臨床試験を開始いたしましたほか、引き続き各テーマの研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。

このほか、本年10月には当社が創製いたしましたパーキンソン病治療薬KDT-3594（開発番号）につきまして、中国、台湾、香港、マカオ及び東南アジア6カ国（シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピン）における独占的な開発権及び販売権等をアフアメドセラピューティクス社（香港）に許諾する契約を締結いたしました。

# I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	2020年3月期		2021年3月期			
	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
売上高	31,548	63,234	32,284	2.3%	68,000	7.5%
医薬品事業	26,557	51,308	28,394	6.9%	56,700	10.5%
医薬品	20,764	41,397	24,521	18.1%	48,500	17.2%
ヘルスクエア食品	1,964	3,840	1,845	△6.1%	3,700	△3.6%
その他*	3,827	6,070	2,027	△47.0%	4,500	△25.9%
情報サービス事業	3,225	6,631	2,396	△25.7%	7,000	5.6%
建設請負事業	848	3,610	1,179	39.0%	3,700	2.5%
物品販売事業	917	1,684	314	△65.7%	600	△64.4%
(売上高のうち輸出)	(3,333)	(5,731)	(2,032)	(△39.0%)	(4,500)	(△21.5%)
売上原価	12,850	28,328	16,188	26.0%	36,200	27.8%
(原価率%)	(40.7)	(44.8)	(50.1)		(53.2)	
売上総利益	18,698	34,905	16,096	△13.9%	31,800	△8.9%
販売費及び一般管理費	16,364	33,048	14,051	△14.1%	31,000	△6.2%
研究開発費	5,059	10,767	3,548	△29.9%	10,000	△7.1%
(売上高比%)	(16.0)	(17.0)	(11.0)		(14.7)	
営業利益	2,334	1,857	2,044	△12.4%	800	△56.9%
営業外収益	678	1,430	758	11.8%	1,400	△2.1%
受取利息及び配当金	614	1,227	644	4.8%		
その他の収益	63	203	114	78.4%		
営業外費用	155	859	22	△85.6%	100	△88.4%
支払利息	11	23	11	△0.9%		
その他の費用	143	835	10	△92.6%		
経常利益	2,857	2,429	2,780	△2.7%	2,100	△13.5%
特別利益	28	2,264	2,940	-	4,050	78.9%
特別損失	16	62	9	△40.9%	50	△19.4%
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,870	4,630	5,711	99.0%	6,100	31.7%
法人税、住民税及び事業税	403	390	969	140.1%	1,500	284.6%
法人税等調整額	286	1,351	340	18.7%	△20	-
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	28	71	4	△83.9%	20	△71.8%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,150	2,817	4,396	104.4%	4,600	63.3%

(包括利益) (5,782) (12,646) (27,281) (371.8%)

\* : 国内販売提携先供給額、技術料売上 (導出テーマに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティ) の合計額

売上高	<p>実績： 医薬品事業：6.9%増収 医薬品が増加。医薬品ではベオーバ、ダルベポエチナルファBS注、ピートルなどの増加に加え、本年4月に販売移管が行われたマリゼブ、ミニリンメルト他の寄与などにより全体で増収。一方、ヘルスケア食品、その他の売上は減少。 その他の事業：22.1%減収 建設請負事業が増収、情報サービス事業、物品販売事業が減収。</p> <p>予想： 医薬品事業：10.5%増加 医薬品では、輸出は減少するものの、引き続きベオーバ、ピートルなどに加え、本年4月の販売移管商品の育成を図ることなどにより増加の見込み。 ヘルスケア食品は減少、その他は技術料売上が増加の一方、国内販売提携先への供給額が減少の見込み。 その他の事業：5.2%減少 情報サービス事業、建設請負事業が増加、物品販売事業が減少の見込み。</p>
売上原価	<p>実績：売上原価率は9.4ポイント上昇 医薬品事業の売上原価率は製品構成の変化などにより上昇。その他の事業も事業構成の変化などにより上昇。</p> <p>予想：売上原価率は8.4ポイント上昇 医薬品事業の売上原価率は製品構成の変化などにより上昇を見込む。その他の事業も事業構成の変化などにより上昇を見込む。</p>
販売費及び一般管理費	<p>実績：前年同期比14.1%減少 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、販売費、一般管理費、研究開発費の全てにおいて減少。研究開発費は、臨床試験費用を主に減少。</p> <p>予想：前期比6.2%減少 新型コロナウイルス感染症の影響を加味し見直した結果、販売費、一般管理費、研究開発費の全てにおいて減少の見込み。研究開発費の減少は、上期と同様の理由による。</p>
営業外損益	<p>実績：前年同期は有価証券評価損を計上したのに対し、上期は有価証券評価益を計上。</p> <p>予想：特別なものは見込んでいない。</p>
特別損益	<p>実績：上期は特別利益として投資有価証券売却益を計上。</p> <p>予想：特別利益として、上期に加えて下期においても投資有価証券売却益の計上を見込む。</p>

### 【その他項目（連結）】

(百万円)

項目	2020年3月期		2021年3月期			
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	前同比	通期予想	前期比
減価償却費	1,234	2,562	1,530	23.9%	3,200	24.9%
設備投資額	408	970	394	△3.3%	1,000	3.1%
主要内容	生産設備等 78 その他 330	生産設備等 232 その他 737	生産設備等 209 その他 185		生産設備等 600 その他 400	
期末従業員数(人)	1,923	1,892	1,895	△28	-	-

## II. 連結貸借対照表の推移

(百万円)

項目		決算期		2021年3月期 第2四半期	増減 (対前期末)
		2020年3月期			
		第2四半期	期末		
資 産	流動資産	98,106	96,677	91,598	△5,078
	現金及び預金	35,864	36,329	25,103	△11,225
	受取手形及び売掛金	19,391	19,462	22,205	2,743
	特定金銭信託及び有価証券	26,478	26,152	26,149	△2
	棚卸資産	13,965	13,439	16,927	3,487
	その他の流動資産	2,406	1,293	1,212	△80
	固定資産	122,803	135,117	174,883	39,765
	有形固定資産	25,007	24,605	24,271	△334
	無形固定資産	1,475	1,511	1,514	2
	投資その他の資産	96,319	108,999	149,097	40,097
	投資有価証券	92,313	105,158	137,835	32,676
	長期前払費用	2,321	2,103	9,702	7,599
	繰延税金資産	590	677	554	△123
	その他の投資等	1,135	1,097	1,043	△54
貸倒引当金	△42	△36	△37	△0	
資産合計		220,909	231,794	266,481	34,686

現金及び預金	・利益による増加があった一方、医薬品事業における株式取得、販売権取得などの資金需要による減少
受取手形及び売掛金	・主として、医薬品事業における売上の増加に伴う増加
棚卸資産	・医薬品事業における商品及び製品の増加、情報サービス事業における仕掛品の増加
投資有価証券	・主として、時価評価による含み益の増加
長期前払費用	・減価償却による減少の一方で、医薬品事業における販売権取得による増加

(百万円)

項目		決算期		2021年3月期 第2四半期	増減 (対前期末)
		2020年3月期			
		第2四半期	期末		
負 債	負債合計	33,587	38,824	47,444	8,619
	流動負債	14,888	17,024	15,639	△1,384
	支払手形及び買掛金	3,909	5,237	5,341	103
	短期借入金	1,754	1,746	1,746	-
	未払法人税等	649	196	1,229	1,033
	その他の流動負債	8,575	9,843	7,322	△2,520
	固定負債	18,698	21,800	31,804	10,004
	長期借入金	1,922	13	5	△8
	繰延税金負債	13,268	17,191	27,343	10,151
	退職給付に係る負債	2,606	3,572	3,471	△101
その他の固定負債	901	1,022	983	△38	
純 資 産	純資産合計	187,322	192,970	219,037	26,066
	株主資本	143,984	143,435	146,618	3,182
	資本金	24,356	24,356	24,356	-
	資本剰余金	24,226	24,226	24,226	-
	利益剰余金	107,009	106,461	109,643	3,182
	自己株式	△11,607	△11,608	△11,608	△0
	その他の包括利益累計額	42,858	49,029	71,898	22,869
	非支配株主持分	478	504	520	15
負債及び純資産合計		220,909	231,794	266,481	34,686

支払手形及び買掛金	・情報サービス事業における増加、物品販売事業における減少
未払法人税等	・医薬品事業における所得の増加に伴う増加
その他の流動負債	・医薬品事業における未払金の減少、建設請負事業における未成工事受入金の増加
繰延税金負債	・投資有価証券の含み益増加に伴う増加
利益剰余金	・期中配当金支払い△1,214、親会社株主に帰属する四半期純利益+4,396
その他の包括利益累計額	・投資有価証券の含み益増加に伴うその他有価証券評価差額金の増加

### Ⅲ. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移

(百万円)

項目	決算期	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー		11,989	△1,262	△13,252
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,238	△8,669	△7,430
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,205	△1,288	△83
現金及び現金同等物に係る換算差額		△1	△0	0
現金及び現金同等物の増減額		9,544	△11,221	△20,765
現金及び現金同等物の期首残高		49,315	59,319	10,004
現金及び現金同等物の期末残高		58,859	48,098	△10,760

主な増減要因（前年同期比）

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー：減少

営業活動により前年同期に比べ13,252百万円の資金が減少し、1,262百万円の支出となりました。税金等調整前四半期純利益の増加がありましたが、売上債権、たな卸資産の増加などの資金減少要因によるものです。

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー：減少（支出増）

投資活動の結果使用した資金は、投資有価証券の売却による収入が増加しましたが、投資有価証券の取得による支出、長期前払費用の取得による支出が増加したことなどにより、前年同期に比べ7,430百万円支出増の8,669百万円の支出となりました。

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー：減少（支出増）

財務活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ83百万円支出増の1,288百万円の支出となりました。



## IV. 配当の推移

(円)

項目	決算期 2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期予想
中間配当	24	25	26	27
年間配当	48	50	52	54

(参考)

(百万円)

自己株式の取得	4,462	-	-	-
(取得株式数)	(1,600千株)	-	-	-
自己株式の消却	5,695	-	-	-
(消却株式数)	(2,500千株)	-	-	-

## V. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	決算期 2019年 3月期	2020年3月期		2021年3月期			
		第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
過活動膀胱治療薬 ペオーバ	706	485	3,185	3,387	597.2%	7,000	119.8%
デスモプレシン製剤 ミニリンメルト、他*	-	-	-	1,511	-	3,900	-
排尿障害改善薬 ユリーフ	17,810	3,540	5,857	1,969	△44.4%	3,700	△36.8%
高リン血症治療薬 ピートル	4,801	2,925	5,752	3,039	3.9%	6,400	11.3%
腎性貧血治療薬 ダルベオエチン アルファBS注JCR	-	-	812	2,676	-	4,700	478.8%
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	6,015	3,073	5,520	2,280	△25.8%	4,000	△27.5%
糖尿病治療薬 グルバス	4,428	2,350	4,501	2,181	△7.2%	4,400	△2.2%
糖尿病治療薬 グルファスト	1,678	752	1,406	619	△17.7%	1,100	△21.8%
糖尿病治療薬 マリゼブ	-	-	-	796	-	1,800	-
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	1,617	828	1,604	781	△5.7%	1,570	△2.1%
潰瘍性大腸炎治療薬 レクタブル	663	381	756	412	8.3%	820	8.5%
高脂血症治療薬 ベザトール	1,709	748	1,364	561	△25.0%	1,060	△22.3%

\* : ミニリンメルトOD錠25μg/50μg/60μg/120μg/240μg、デスモプレシン点鼻液0.01%協和、デスモプレシン・スプレー2.5協和/10協和、デスモプレシン注4協和

## VI. 新薬開発状況（自社）

(2020年11月現在)

開発段階	開発番号 (一般名)	開発区分	予定適応症	主な作用等	備考
第Ⅲ相	KPS-0373 (ロバチレリン)	導入品/塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出 ホルモン(TRH)作用	第Ⅲ相臨床試験終了 PMDAと協議中
	CCX168 (アバコバン)	導入品/ビフォー・フレゼニ ウス・メディカル・ケア・ リーナル・ファーマ(スイス)	顕微鏡的多発血管炎、 多発血管炎性肉芽腫症	補体C5a受容体阻害作用	第Ⅲ相臨床試験終了
	AJM300 (カロテグラストメチル)	導入品/EAファーマ 共同開発	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害作用	
	R788 (ホスタマチニブ)	導入品/ライジエルファーマ シューティカルズ(アメリカ)	慢性特発性血小板 減少性紫斑病	チロシンキナーゼ阻害作用	
	MR13A9 (ジフェリケファリン)	導入品/丸石製薬 共同開発	透析患者における そう痒症	κオピオイド受容体刺激作用	
第Ⅱ相	KLH-2109 (リンザゴリクス)	創製品	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト	
	KDT-3594	創製品	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	

※ 前回公表時（2020年8月）からの変更点：ジフェリケファリン … 第Ⅱ相 → 第Ⅲ相

## VII. 新薬開発状況（導出）

(2020年11月現在)

開発段階	開発番号/ 一般名	提携企業	権利地域	予定適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	イーザイ(日本)	アセアン*1	2型糖尿病	速効・短時間型 インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)	イーザイ(日本)	アセアン、インド、スリランカ *2	前立腺肥大症に 伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用
第Ⅲ相	KLH-2109 (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	日本、一部のアジアを除く 全世界	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
	KLH-2109 (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	日本、一部のアジアを除く 全世界	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedradrine)	メディシナバ(アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作	β2アドレナリン受容体 刺激作用

※ 前回公表時（2020年8月）からの変更点：なし

\*1：申請中：ベトナム

\*2：申請中：アセアン2カ国